

- 1) 一般社団法人 尾三会(愛知県豊明市・・・29法人(7つの二次医療圏)藤田医科大中心
- 2) 同 備北メディカルネットワーク(広島県) 市立三次中央病院、庄原市立西城病院等
- 3) 同 はりま姫路総合医療センター(2022年736床)整備推進機構
- 4) 同 アンマ奄美南部メディカルケアアソシエーション(鹿児島県奄美大島)
- 5) 同 日本海ヘルスケアネット(山形県酒田市日本海総合病院、本間病院等・・・11法人
- 6) 同 医療戦略研究所(福島県いわき市)医療法人正風会、社福法人正風会等
- 7) 同 房総メディカルアライアンス(千葉県鴨川市)・・・亀田総合病院等2法人
- 8) 同 日光ヘルスケアネット(栃木県)・・・日光市民病院、独協日光医療センター等
- 9) 同 滋賀・高島(滋賀県高島市)・・・高島市民病院、マキノ病院、今津病院等
- 10) 同 さがみメディカルパートナーズ(神奈川県厚木市、海老名市等)・・・7医療法人
- 11) 同 江津メディカルネットワーク(島根県江津市)島根済世会江津総合病院等
- 12) 同 北河内メディカルネットワーク(関西医科大付属病院等)
- 13) 同 弘道会ヘルスネットワーク(守口生野記念病院、萱島生野病院等)
- 14) 同 ふくしま浜通り・メディカル・アソシエーション(相馬中央病院、常盤病院等)
- 15) 同 桃の花メディカルネットワーク(茨城県古河市)山中医院、つるみ脳神経科等
- 16) 同 県北西部地域医療ネットワーク(岐阜県郡上市、高山市、白川村荘川診療所等)
- 17) 同 清水令和会(高知県土佐清水市)渭南病院、松谷病院、足摺岬診療所
- 18) 同 湖南メディカル・コンソーシアム(滋賀県大津市、草津市、栗東市、守山市等)35法人

(続) 認定済全国医療連携推進法人

- 19) 北海道南檜山圏域ネットワーク(北海道、江差町、上の国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、江差診療所、江差脳外クリニック)
- 20) 北海道上川北部圏域ネットワーク(名寄市、士別市等市立病院)
- 21) 高知メディカルアライアンス(高知市近森会、
- 22) 佐賀東部メディカルアライアンス(今村病院、田尻外科胃腸科医院)
- 23) ふじのくに社会健康医療連合(静岡市)独法静岡県立病院機構、静岡県立総合病院、桜が丘病院等
- 24) 上十三まるごとネット(青森県 十和田市民病院、三沢病院等)
- 25) 岡山救急メディカルネットワーク(岡山県 心臓病センター榊原病院 岡山東部脳外科病院等)
- 26) 川西・猪名川地域ヘルスケアネットワーク(川西市医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療法人協和会、清風園、川西市、猪名川町等)
- 27) 泉州北部メディカルネットワーク(泉大津市、和泉市)泉大津市立病院、生長会府中病院
- 28) 雲南市・奥出雲町地域医療ネットワーク(雲南市、奥出雲町)雲南市立病院、町立奥出雲病院
- 29) 県東部メディカルネットワーク(順天堂大学附属静岡病院、静岡県厚生連、医療法人一就会等)
- 30) 横浜医療連携ネットワーク(横浜市)大口東総合病院、港北病院、湘南泉病院、長田病院
- 31) 東近江メディカルケアネットワーク(東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町)東近江市立能登川病院、弓削メディカルクリニック、びわこ学院大学等

連携事業の状況①

項目	業務内容、課題等																											
<p>人事交流／派遣体制の整備 ／職員の共同研修</p>	<p style="text-align: right;">令和3年7月</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>日本海</td> <td rowspan="3">医師</td> <td>3名</td> <td>平日診療</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>3名</td> <td>水土日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>酒田リハ</td> <td>2名</td> <td>宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td rowspan="2">看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各参加法人の採用計画、不足する職種等の情報共有【H30.6～実施】 ・退職予定者へ参加法人の職員募集状況を情報提供【H30.7～実施】 ・定年を迎える医師の就労機会の確保 ・職員研修の共同実施(研修会への参加の呼びかけを相互に実施) 	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	日本海	医師	3名	平日診療	病院機構	健友会	3名	水土日の宿日直	医師会	酒田リハ	2名	宿日直	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	3名	診療所、老健
出向元	出向先	職種	人数	備考																								
健友会	日本海	医師	3名	平日診療																								
病院機構	健友会		3名	水土日の宿日直																								
医師会	酒田リハ		2名	宿日直																								
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																								
病院機構	宏友会		3名	診療所、老健																								
<p>維持透析機能の重点、集約化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海HPの慢性維持透析患者を本間HPへ【H29.6～実施】 ・患者増に対応する施設・機器の整備 ・看護師の増員(病院機構から出向) ・送迎バスの増便 ・本間HPでR元年12月から20床増床 																											

連携事業の状況②

項目	業務内容、課題等
診療機能の重点、集約化	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期機能の集約化(救急、手術部門等の調整)【H29.3～検討開始】 <ul style="list-style-type: none"> → 日本海総合病院に集約する方向性を確認 → 高額医療機器等の更新と連動した考え方が必要
地域フォーミュラリ	<p>○薬剤の有効性、安全性、経済性を検討し、地域での推奨薬を選定する。 【H30.11～実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会の地域フォーミュラリ検討会で基礎データを収集・分析 ・日本海ヘルスケアネットの地域フォーミュラリ作成運営委員会と協議会での検討・議論を経て、最終的に理事会で議決承認。 ・現在8薬剤について実施中 <ul style="list-style-type: none"> ①PPI ②α-GI ③ARB ④スタチン ⑤バイオシミラー ⑥ビスホスホネート ⑦抗ヒスタミン薬 ⑧抗インフルエンザ薬 ・当面、8薬剤の地域への周知徹底と効果の検証に取り組む。
訪問看護ステーションの再編・統合	<p>○4参加法人が運営している訪問看護ステーションを再編統合することで、機能の充実、効率化及び経営の安定化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宏友会上田診療所の訪問看護を病院機構八幡クリニックに統合 (R元年6月～) ・医師会ステーションを健友会ステーションと統合(R2年4月～)

連携事業の状況③

項目	業務内容、課題等
病床調整	○連携推進法人内の病院間における病床の融通(地域医療構想推進) ・日本海総合病院の休床中の急性期病床4床を本間病院に移譲(回復期病床) (R元年12月～)
医療・介護の連携強化	・本地区における地域包括ケアのあり方の検討・協議【H29.7～検討】 ・人材確保、人事交流、介護職の教育体制の共有、交換研修の実施を検討 ・退院支援、退院調整ルールを作成検討
口腔ケアの連携	○病院、老人保健施設、老人介護施設、在宅等の口腔ケアの共通シートを作成し、病院、施設間の多職種で共有し、ケアプランに反映できる仕組みをつくる。
複合型介護施設の整備	○山容会が計画する複合型介護施設への支援 ・連携推進法人の理事会での調整・助言を踏まえ山容会が設置を申請
地域での財務連結	○連携推進法人全体の「数値」を「見える化」することで、地域への波及効果の検証や具体的な課題の抽出等に活用 ・外部コンサルに委託(R元年9月～)
広報	・共通ロゴマーク作成・表示【H29.4～実施】 ・ホームページの開設【H30年度～実施】 ・患者・住民向け講演会の開催【H31年4月実施】
情報共有	連携推進法人内の情報共有の仕組みを整備 ・理事会、社員総会、評議会、ワーキングの状況等の資料 ・病院・施設等の空床情報 ・災害時の情報共有等

連携事業の状況④

項目	業務内容、課題等
検査機能の重点、集約化	<p>○経費の削減を図るため日本海総合病院に検査機能を集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター化と部門システムの連携等を含む運用方法の検討【H29.3～検討開始】 ・日本海総合病院検査部 ISO15189 取得【H30.8】 ・費用削減効果の試算 <p>→現状では他病院、診療所のメリットが見込めないため中断</p>
電子カルテ等の共有	<p>○電子カルテの共有化に向けた検討・協議【H29.3～検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院機構以外の病院、診療所のコストが増加、患者IDの共通化、会計システムとの連動などの課題あり。 <p>→本間病院の電子カルテの更新時期を踏まえ継続協議。</p>
高額医療機器(CT、MRI等)の共同利用	<p>○高額医療機器の二重投資回避による経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療機器一覧の作成、費用、収支等の把握【H30.5～実施】 ・そのためには、機能分担の明確化が必要(手術、検査等の機能集約化)
薬品・診療材料・委託業務等の共同交渉	<p>○スケールメリットと二重投資回避による経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加法人の購入単価の比較等を実施 <p>→現在のところ経済的メリットが見込めないため中断</p>
出資・基金の拠出	<p>○連携推進法人及び参加法人が持続可能な経営を行うため必要な資金の調達</p> <p>→地方独立行政法人、社会福祉法人は出資不可。法整備が必要</p>